

株式会社パスコ 関連記事情報

掲載紙：日刊建設工業新聞 掲載面：3面
発行日：2010年8月17日

観光ガイドにユビキタス導入
モビリティサポートにも活用検討

最前線



「自律移動支援プロジェクト」で全国に

津和野町は、国土交通省が主導した「自律移動支援プロジェクト」で全国に
パスコがシステム構築とコンテンツ制作などを手がけた島根県津和野町の「ユビキタス観光ガイド(ユビナビ)」による観光案内の評判が上々だ。スタートして1カ月半が経過、音声と写真に加えて、動画や地図で手軽に街角情報を教えてくれるサービスは国内はもとより海外からの観光客にも好評だという。屋内でも、屋外でもシームレスで情報を得ることができる、文字通り「いつでも、どこでも(ユビキタス)」を実現した津和野町とパスコの取り組みを紹介する。

パスコ、島根・津和野町

専用の端末で観光案内(ユビナビを使って町を散策)

先駆けてユビキタスネットワーク技術を用いた観光ガイドを04年に試験的に導入した実績がある。今回、パスコが開発、導入支援したユビナビは、地元の観光協会を中心とする「津和野町ユビキタス運営協議会」が実際の観光案内に活用するために導入した本格的なシステム。09年度の総務省の「ユビキタスタウン構想推進事業」に採択された補助事業として取り組みが進められていた。

ユビナビの基本的な原理は自律移動支援プロで採用されたシステムと同じ。u codeを埋め込んだRFIDタグで場所を認識し、専用のリーダー(ユビキタスコミュニケーション)を使ってサーバーから取り込んだ場所情報や写真、動画などをユーザーはリーダーの画面を通じて閲覧するという仕組みだ。新たな機能として、タグを埋め込んでいない場所でも街の歴史や催し物、商店街の情報などをいつでも任意に取り込むことができるサービスを追加。専用のリーダーで得られる詳細な情報に加えてQRコードを使って携帯端末で簡単な情報を得られるサービスも始めた。

明治の文豪・森鷗外や西岡を生んだところで知られる津和野町は、美術館の多い街でもある。RFIDはこの美術館や交差点、地元商店の各ポイント44カ所に設置、観光ポイントとなる名所・旧跡巡りやおみやげとなる地元の特産品選びを容易に行えるようにした。さらに、四季折々の催し物を写真や動画で見ることができるようにもしている。

パスコでコンテンツ制作を担当したインフラマネジメント事業部技術2部ユビキタスソリューション課の岩崎秀司課長は、「観光を楽しんでもらうのはもちろん、また来なくなるような内容にするよう心がけた」と語る。津和野町独特の盆踊りの動画などをコンテンツに組み込むことで、違う季節にも訪れたいと思えるようにした。散策しながら津和野の歴史などが学べるコンテンツも用意するなど、まさに「かゆいところに手が届く」ユビキタス観光ガイドを制作した。

コンテンツ作りには、地元の商店街も協力。商店街の店舗160店が商品情報などを組み込んだ。こうした店舗では随時、自分で情報を更新、常に最新の情報を観光客に届けている。今後は、外国人にも使いやすいように英語や韓国語、中国語の音声案内も用意する考えだという。

システム開発を手がけたパスコは現在、津和野町ユビキタス運営協議会のシステム運用を支援しており、システムの利用範囲の拡大を検討している。津和野町のユビナビは、国交省のモビリティサポートモデル事業の本年度の実施個所として選定されている。高齢者も身体に障害がある人の移動を支援するシステムとして機能向上が期待されている。観光から自律移動支援までユビキタス技術がいよいよ実用的な技術になってきた。

JR西日本の津和野駅にある津和野町観光協会がユビキタスコミュニケーションを借りるだけで、サービスを受けることができる。料金も1日3000円と安価なタッチパネル式の操作も簡単なので高齢者でも遊び感覚で気軽に使うことができる。

ユビナビの基本的な原理は自律移動支援プロで採用されたシステムと同じ。u codeを埋め込んだRFIDタグで場所を認識し、専用のリーダー(ユビキタスコミュニケーション)を使ってサーバーから取り込んだ場所情報や写真、動画などをユーザーはリーダーの画面を通じて閲覧するという仕組みだ。新たな機能として、タグを埋め込んでいない場所でも街の歴史や催し物、商店街の情報などをいつでも任意に取り込むことができるサービスを追加。専用のリーダーで得られる詳細な情報に加えてQRコードを使って携帯端末で簡単な情報を得られるサービスも始めた。

コンテンツ作りには、地元の商店街も協力。商店街の店舗160店が商品情報などを組み込んだ。こうした店舗では随時、自分で情報を更新、常に最新の情報を観光客に届けている。今後は、外国人にも使いやすいように英語や韓国語、中国語の音声案内も用意する考えだという。

システム開発を手がけたパスコは現在、津和野町ユビキタス運営協議会のシステム運用を支援しており、システムの利用範囲の拡大を検討している。津和野町のユビナビは、国交省のモビリティサポートモデル事業の本年度の実施個所として選定されている。高齢者も身体に障害がある人の移動を支援するシステムとして機能向上が期待されている。観光から自律移動支援までユビキタス技術がいよいよ実用的な技術になってきた。

※ 本紙記事を80%で縮小表示

※資料の全部または一部の複写・複製・転記載を禁じます。

※本資料は、日刊建設工業新聞社の記事二次利用許諾を得ています。